

越教組二ユース

越谷でも少人数数学級を

少人数数学級署名を提出

二月十九日、「越谷市にも三〇人学級の実現を」の署名を教育委員会に届けました。今年度は、五〇〇〇筆強の署名数となりました。提出には、保護者代表三名と越教組代表七名、市教委からは学務課長はじめ三名が出席しました。

Sさん。二人の子がいます。下の子は、「勉強で分からないことがあっても先生に聞く時間がない。すぐに移動で水を飲む時間がない」などゆとりのない毎日になっているようです。上の子は、学校での友達関係で悩んでいる姿が見られました。多くの子に先生一人では本当に大変です。

せひ目が行き届く体制づくりをお願いします。

Tさん。

孫が小3。現在孫の学年児童が81名で、学級減になるかもしれない。毎年署名をお願いすると「Tさん、何年やれば実現するの？」と言われる



る。先生の長時間労働をなくして、先生が元気で生き生きと働けるように国にも働きかけてほしい。

Nさん。

子どもが楽しい思いをした「ふるさと」を作ってあげたい。私の時は、4年生で九九を習い、休み時間や放課後には先生と歌を歌ったり、話してもらったりしていた。せっかく行く学校、楽しくないなんて情けない。せひ楽しい「ふるさと」になるようにゆとりのある学校にしてほしい。

教員 Yさん。

昨年は二年生で25人だったクラスが、今年は三年生で37〜38人に。困り感を抱えた子への対応、事務量の多さ(給食5分での丸付け)に加え、最近では保護者対応の難しさも。教員にかかる負担は限界を超えている。未来を創る子らにぜひお金をかけてほしい。

越谷市教職員組合 ホームページ



市教委(学務課長)

市で教員を一人増やすのは難しい。本来は国や県の仕事であり、働きかけていきたい。市では支援員を増やすことができるが、予算の枠があり少しずつでも増やしていきたい。署名の重みをしっかり受け止め、自分がこの立ち位置にいる限り一所懸命頑張らせていただきたい。

人事異動 最終盤

人事異動関係は、今年度は例年より動きが早いようだ。事実上、ほとんど終わっているといつてよい時期だ。意向のある人は、聞きに行ったりほうがよい。出せる情報は、出してもらえないはずだ。

教頭異動が多い

今年度は、校長の退職者が少ない年になっているとのことだ。となる管理職の異動は教頭が中心となる。教頭の他校・

新採用を大幅増に

新採用については、昨年の一・五倍程度の大採用を

時数確保 最多は平回上乘せ

最近面白い調査結果があった。一つは、指導要領の授業時間増への対応である。越谷市教委は、長期休業の短縮を押し付ける形だったが、全国的には組合が言っていた「平日の授業増」や「学校で

とに様々」を選択した自治体が多かった。越谷市教委も、もっと幅広く意見を聞いてはどうだろうか。

越谷市は★マークの回答で、やや遅れている。現在、市版「働き方改革基本方針」を策定中とのことだが、スピードをもって取り組みを進めることが求められている。

全国市区町村教育長アンケート

時数確保策	%	複数可
平日の授業増	44.	4
長期休業短縮★	36.	1
式典日に授業	26.	8
モジュール導入	22.	0
特活の見直し	19.	5
土曜日授業	12.	2
学校ごとに様々	37.	6

埼玉県における働き方改革調査(文科省)

上限策定状況	自治体数
策定済み	4
あるが再検討	6
あり再検討なし	1
新たに検討	45★
策定の予定なし	8

授業準備等サポート	自治体数
すでに実施中	34
実施に向け検討中	14★
予定なし	15
検討の余地ない	1

〇名程度になりそうだ。これで、年度当初の未配置の問題は解消できるとの見通しが立つが、年度途中の産育休・病気休暇等の代替が見つかからないのは変わらない。

また、新採用が増えれば当然だが、後補充に入る方や新任教員指導者がそれだけ必要になる。再任用者は、打診が多くなるだろう。

再任用は横ばい

ここ数年ずっと増え続けてきた再任用は、昨年とほぼ同じ人数くらいになりそうだ。(昨年度は九〇人台後半、今年度は八九名)

今後は退職者が少なくなっていくことから、再任者は昨年度をピークに徐々に減っていくと考えられる。再任用希望者の希望形態別人数は、小学校ではフルが六一名、五分の四が二名、五分の三が十三名、五分の二が六名。中学校ではフルが二八名となっている。短時間希望者では初任者指導に当たる人が多く、ペアを組んで授業に当たるのは今年度と同じ三組